

## 情報、意見交換会（第3回） 報告書

2011・11・26

会場	練馬区役所 本庁舎 19階 中会議室		
日時	2011年10月02日(日) 16:20～18:30		
参加者	正会員	徳野悠我・茶谷与志雄・ヤマサキオサム・笹木信作・森田宏幸・杉野左秩子・ほか1名〔7名〕	
	無料正会員	宇田明彦・大和直道・宇代祐規・鈴木亜矢・林明偉・和佐田未希・中川敦・ほか2名〔9名〕	
	賛助会員	松原広幸〔1名〕	
	応援団	芦原太郎〔1名〕	

ヤマサキオサムの絵コンテ演出講座の後だけに、参加者がこれまでより増加した。ルールについての説明の後、自己紹介をし、議題に入った。

### 情報意見交換会のルール

- ① 発言するときは、まず自分の名前を言ってから。
- ② 話しかけている対象をはっきりさせた発言をする
- ③ 聞いた話は、出自をあきらかに
- ④ 全員1会員として発言をする(理事も参加しているが、彼らの発言も報告は別にして理事会を代弁するものではない)
- ⑤ 話された内容などはホワイトボードに書き、参加者でチェックした後写真を撮ってそれを記録とする。これを提案や要望・意見として理事会へあげる。

### **{お題1} 今後の講座—提案募集**

お知らせでのお題を、時間の都合上1つに絞り込んだ。

また、11月〔coromo〕・12月〔デジタルアニメ塾〕・1月〔確定申告講座〕と、今後予定されている講座の告知がなされた。

これからの講座内容の要望に関しては、

<発言1-01>

撮影からのシートや原画の提供の仕方についての要望を知りたい。

<発言1-02>

美術などのほかのパートから作画・演出に向けての講座。

作画以降の工程も知りたい。

経験が少ない人へ向けての講座で若手の参加を促したい。

<発言1-03>

アニメ業界の問題点を説明する講座・シンポジウム

(デジタル化による変化・予算の問題など)

<発言 1-04>

ある程度環境が整っていないと講座にも参加できない。

そういった人のために、勉強のためのきっかけになる場が欲しい。

さまざまな情報をまわすには、ツイッターは大きなツールになると思う。

ツイッターのアカウントを作るなら協力したい。

<発言 1-05>

レッスンのクラスが欲しい。画力と集中力を高めるため役に立つ。

<発言 1-06>

まだまだ稼げない人が多い。メンタル面を持ち上げるような対策や場を。

そのほか、告知の仕方への提案として、

<発言 1-07>

ツイッターで講座の事を知らせたら、反応が良かった。有効ではないか。

<発言 1-08>

JAniCA の公式ツイッターなども開いて告知するのも良いのでは。

<発言 1-09>

大人数の講座や講義は Ustream で配信しては如何か。

広く告知することで、JAniCA についているマイナスイメージを変えてゆきたい。

<発言 1-10> ↑ <発言 1-09> を受けて

Ustream などには、権利問題が出てくる。また、目的をはっきりさせなくては。

<発言 1-11> ↑ <発言 1-09> を受けて

顔を合わせることに意義がある

<発言 1-12>

広く募集するのは良いと思うが、

逆に、自分が定員内に入れるのか心配で宣伝したくない気持ちもある

<発言 1-13>

しかし、定期的に行われるのであれば、いつかは自分のスケジュールに合うであろう。

講座の規模やあり方については

<発言 1-14>

講座があるから会員になった。続けて欲しい。

<発言 1-15> ↓ 「以前の講座はどのような規模だったのか」との質問に対して

以前の講座は、もっと規模が大きく、募集期間も長かった。

<発言 1-16>

講義担当者にはギャラが出ることを告知しては？

<発言 1-17>

アニメーション以外の分野のプロフェッショナルに来てもらうことも可能。

{ その他 }

<その他-01>

参加者たちの話を聞いていると、30年前に自分が持っていた問題がいまも変わらず存在している。そうして「何とかしなくてはいけない」という気持ちは大勢が持っている。

また、最初に出会った会社が何処かによって新人(の将来)は変わる。

JAniCA に所属するメリットをもっと増やしてゆくべき。

アニメーターの技術を計る基準を作るべき。

<その他-02>

若手育成事業作品の原画やシートは見られないだろうか？勉強のために見たい。

<その他-03> ↑<その他-02>を受けて

それも権利問題が出てくる。まず許諾を取らなくては。

許可が出た場合、編集等を引き受ける人がいるならば、若手育成事業に参加できなかった人たちの勉強のために原画集など作る可能性はある。

<その他-04>

若手育成事業で「本当に育成できているのか」のチェックはどうなっているのか？

JAniCA としてきちんとやっているのか？

<その他-05> ↑<その他-04>を受けて

聞いている範囲では、実際にかかわっている新人について、

プロジェクト参加後、名指しで原画の仕事依頼がくるなどの効果があるようだ。

<その他-06>

芦田元代表理事が亡くなったときのお知らせには問題があるのではないのか？

お悔やみですらなかった。抗議したい。

<その他-07> ↑<その他-06>を受けて

芦田元代表理事は創設者であり、JAniCA にとっては運営側に属するので、お悔やみではなく報告の形をとるのが妥当と考えた。

<その他-08>

アニメーターの個人情報が多い、某社から流出した事件の際の JAniCA の対応は、良くなかった。

一般社団法人日本アニメーター・演出協会

理事 杉野左秩子

なお、本報告書は、一般社団法人日本アニメーター・演出協会理事、杉野左秩子が自らの責任と判断に基づいて作成したものであり、筆者の所属団体の見解ではありません。

